

レジ袋削減をすすめる 県民の会ニュース

2014年5月18日 NO. 6

発行：長野県レジ袋削減をすすめる県民の会

〒388-8555 長野市篠ノ井御幣川 668

TEL026-261-1380 FAX026-261-1381

【会の目的】長野県全域でのレジ袋の無料配布中止の早期実施をめざし、草の根からの取り組みの核となること。

【目 標】3年以内にマイバック等持参率80%以上（第2回幹事会確認 2013.6.7）

岡学園でレジ袋削減の特別授業が行われました

5月15日(金)に、長野市にある岡学園トータルデザインアカデミーにおいて、レジ袋削減の特別授業が行われました。

「県民の会」では、レジ袋削減の新しい啓発活動を検討するために岡学園に協力をお願いして来ましたが、手始めに学園の生徒さんを対象に学習会を行い、若い人の意見やアイデアを聞くために今回、特別授業を設定していただきました。

当日は、「県民の会」から渡辺副会長と小松事務局、県資源循環推進課から本山主事が参加し、学園の生徒さんと先生60名とともに、レジ袋の取り組みの学習とワークショップを行いました。

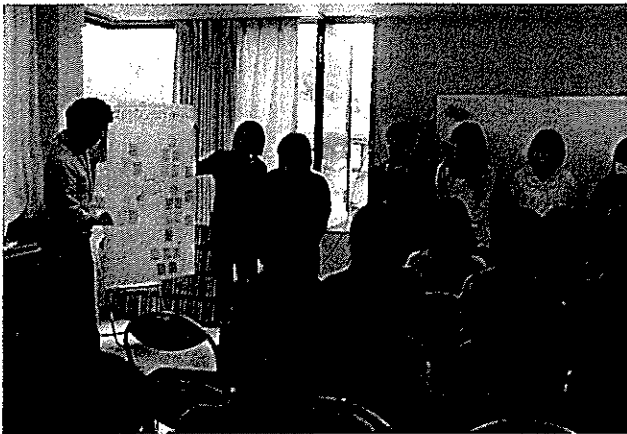
最初に「県民の会」事務局が、簡単な○×クイズに続いて、県のごみ減量の取り組み、レジ袋の歴史や問題点、削減の取組みについて説明し、渡辺副会長がファシリテーターとなって7グループに分かれて50分間のワークショップを行いました。

その後、全体で各グループ毎に発表を行い、全員の方から発言いただきました。



「長野県のごみ排出が全国で2番目に少ないことをはじめて知った」「レジ袋を減らすには意識改革が必要だ」「コンビニへの協力ももっと働きかけたほうが良い」「マイバックのデザインをもっと魅力的なものにすべきだ」などの意見がたくさん出されました。

最後に、岡正子校長から、「学園では外部の方々との協働を大切にしています。今回も新しい発見やアイデアがたくさんありました。皆さんのアイデアが10年先に実現し、社会が良くなれば素晴らしいことです。」との講評をいただき、県民の会としてもレジ袋削減の取組みを大勢の若い人に知っていただき、また、たくさんの意見やアイデアを知ることができました。



初めてのエコバックコンテスト の受賞発表会が行われました

長野県消団連、レジ袋削減を進める県民の会等が後援し、岡学園トータルデザインアカデミー主催、長野県などが共催した「ながのデザインフェスタ」において県内高校生によるエコバックデザインコンテストの受賞発表会が初めて開催されました。

このコンテストには県内 17 の高校が参加し 287 点の応募がありました。

受賞作品は協賛の企業団体の各賞に県知事賞、長野県教育委員会賞など 15 作品、佳作も 10 点選出されました。

このコンテストは昨年 5 月に実施したレジ袋削減を進める県民の会が行った岡学園での特別授業をきっかけに若い人たちにもレジ袋持参運動への理解を広げようと企画されたものです。

会場となった長野市北野文芸座には同時開催の高校生専門学校生によるファッションショーや高校生による T シャツデザインコンテストの発表者・受賞者などで満席の盛況でした。

企業団体賞の中には生活協同組合コープながのの受賞作品もあり、受賞した中野西高校の中澤さんにはコープながのより賞状と記念品（コープ商品詰め合わせ）が贈られました。

長野県知事賞を受賞した屋代南高校田中さんの作品は今後県庁生協売店（県庁本館地下 1 階）にて一般にも販売されることになっています。

また受賞作品は今後の地域での環境イベントなどで展示されることも計画されています。



コープながのより表彰される中野西高校の中澤さん



中澤さんの受賞作品



同時開催の高校生ファッションショー



県知事賞受賞の 屋代南高校 田中さんの作品